布勢小学校

オオサンショウウオの体のもようのひみつ

宇田川桃榎

きっかけ

体の黒いもようがなんのためにあるのか知りたかったからです。

オオサンショウウオの子どものひみつ

オオサンショウウオは子どものときは色が黒色です。子どものときはえらがあります。子どものときは川にいるものにおそわれます。

オオサンショウウオの大人のひみつ

大人のときは黒いもようがそれぞれでき茶色をしています。体の黒いもようはさいしょはありません。だんだん出てきます。大人になるとおそわれません。もようにハートのもようのオオサンショウウオがいます。

オオサンショウウオのゆびのひみつ

ゆびは前は4本後ろは5本でかえると同じゆびです。オオサンショウウオにつめはありません。水かきもありません。

まとめ

子どものオオサンショウウオは体が黒くてえらもありてきにおそわれやすいです。大人のオオサンショウウオは体に黒いもようがあって体のもようはさいしょはないけどだんだんでてきてきにおそわれにくいことが分かりました。オオサンショウウオのゆびの数はかえると同じことがわかりました。つめがオオサンショウウオのゆびにないことが分かりました。わたしはかえるとゆびが同いなのがびっくりしました。子どものときは体が黒色なことをはじめて知りました。大人のオオサンショウウオにはさいしょは体の黒いもようがないのがすごいなと思いました。ゆびの数が前と後ろちがうことをはじめてしりました。

オオサンショウウオの生まれてから大人になるまでの体のへん化のひみつ

思田純夢

きっかけ

絵本で子どものときはえらがあるけど大人になったらなくなると書いてあってもっと知りたいと思ったから。

ふかご4か月のえらは、血かんがすけて、赤です。

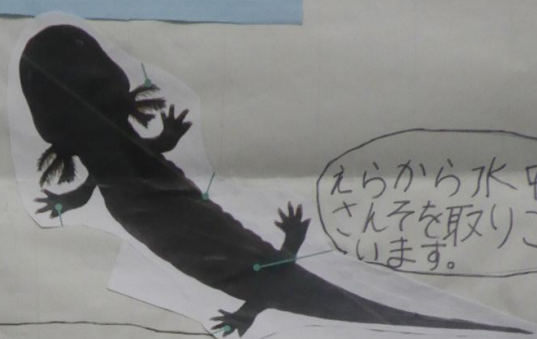
ふかご4か月のえら

ふか後9か月の首には右に3つ、左に3つのえらがあります。えらはふさふさとしげっています。

ふか後9か月のえら

およそ4～5でえらがなくなるへんたいをします。そしてはいこきゅうをするようになります。

4～5さいのえら



えらから水中のさんそを取りこんでいます。

7～8さいはえらは、なくなり、えらあなもとじています。

7～8さいのえら

えらあなとはようせいのときだけにありせい長していくととじてなくなるこきゅうのあな

へんたいとは、生物がせい長のかていで体の形をかえること。

まとめ

ふかから4さいくらいはえらがまだあります。わたしはそのことだ4～5さいで、えらがなくなるへんたいをします。そのことはいこきゅうをするようになります。へんたいが終わったらはいねことがすごいなと思いました。

を知って長い時間えらがあるんだと思いましを知ってとてもびっくりしました。へんたいが終わるとこきゅうをすることをはじめて知りました。いきの仕方がか

オオサンショウウオの目・はな・口・耳のひみつ

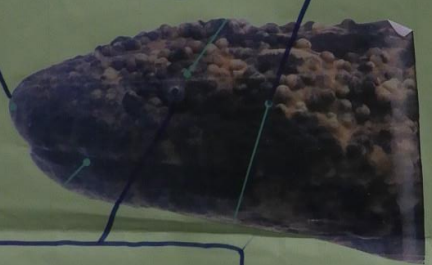
八澤葉月

きっかけ

目が小さくて見えているのか知りたくなったし、はや、口やはなや耳も調べたくなったから。

鼻のひみつ

鼻の穴が2つ、顔にあいています。この穴を水面に出して、大きくいきをすいこんではいこきゅうをします。においにはびんかんです。



耳のひみつ

体の外の耳はなく、音は水のしんどうとして、内耳にきます。内耳は音をうけるだけでなく、体のへいこう感かくをつかさどっています。

目のひみつ

直けい2―3mm。まぶたがなく、いつも目をあけているので、ねているのか起きているのか分かりません。この目がどれくらい見えているのかも、よく分かっていません。

口のひみつ

口は、とにかく大きいです。口をひらくと顔がさけたように見えるので、オオサンショウウオのことを「ハンザケ」とよぶ地方もあります。小さい歯が上あごには2れつ、下あごには1れつ、ならんではえています。上下のあごのふちには、小さい円すいけいの歯が合わせて200本以上、れつになって生えています。この歯はえ物をとらえてはなさない役目の歯で、それぞれの歯は2mmくらいと小さめですが、ナイフのようにするどくなっています。

まとめ

わたしは、オオサンショウウオの耳は、体の外の耳がないことをはじめて知りました。目は、まぶたがなくて目がとじれないからねているのかおきているのかわからないと思いました。オオサンショウウオの歯はナイフのようにするどくてこわかったです。

環境政策課

オオサンショウウオの食べもの

三好瑛汰

きっかけ
さいきんのオオサンショウウオがかせていたので調べました

大きくなったオオサンショウウオは水といっしょにえさを食べます食べるものはアオダイショウ、カジカカエル、サワガニ、ミミズ、カワガラス、ニホンイシガメ、カワムツ、ドンコを食べます。

オオサンショウウオのてき

はんたいにオオサンショウウオが食べられるときがあります。てきはくま、つくちゃ
イノシシ
タヌキ
イタチ
が食べます。

かんそう
やしろ川のオオサンショウウオが食べものにこまっていないかなすたかたからつくりました。
やしろ川のオオサンショウウオがやせていたのでこういうえさがよいのかなと思いました。
オオサンショウオにいろいろなてきがいてたいへんだなと思いました。

オオサンショウウオのたまごのひみつ

長妻美月

きっかけ

本の中にメスがたまごを守らないでオスがたまごを守ると書いてあったから知りたくなりました。

わたしが本で調べたこと。

おなかのらんおうをえいようにしてすくすく育つ。

後足ですなをかきだしたり、すあなをのぞいた天てきカメ、イモリをげきたいしたりして、たまごを守る。

夏の終わりメスは川の中のすあなで、まくにつつまれたたまごをさんらんしオスがふかをまつ。

小さなえらと前足がある。後足はまだふくらみで形はできていない。

8月から11月まで育てるとたまごからふかする。

1日に何度もすの中を見てまわり死んでくさったたまごを見つけては引きちぎって食べる。

ヌシはたえずすの中にもぐりこみ、きれいな水をたまごに送りながら育てる。

たまごのひみつ

11月から2月になるとオオサンショウウオの赤ちゃんはやっと歩けるようになり、つめたい川の中にたびたつ。

ヌシのひみつ

さんらんの1か月前からこの日まで7か月間ヌシはすあなを守り、子育てをする。

かんそう

子どもが生まれたときらんおうを大さにくていたのがびっくりしました。ヌシはくさったたまごを食べちゃうのがびっくりしました。1日に何度もすの中にもぐりこむのがつかれないのと思いました。生まれたてのオオサンショウウオは後足がないことが分かりました。カメやイモリはオオサンショウウオのたまごを食べるのをはじめて知りました。ヌシはたまごを育てないといけないし天てきをたおさないといけないので大へんだなあと思いました。4か月でたまごがふかするのが長いなと思いました。大へんだけど赤ちゃんをふかさせるには、がんばらないといけないことなんだなと思いました。

環境政策課

オオサンショウウオのけっこんのひみつ

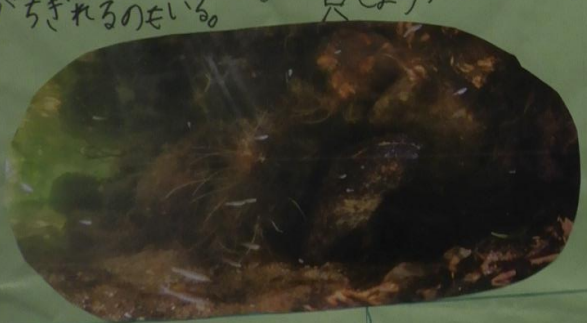
勝部葵月

きっかけ
魚しょうがいしてうむけどオオサンショウウオはどんなのかきになったから。

これはぬしとオスがたたかっているようすです。

①すあなで待つオス

オスがメスをまつのは、川のふちに自ぜんにできたあなですあなは強いオスだけがもつことができるほかのオスからのってられないにう入り口でにらみをきかせてメスがくるのを待つ。すあなに入ろうとしてくるオスもいる。負しようするときもあって足がちぎれるのもいる。



②デスロール

オオサンショウウオもひっさつわざのデスロールで相手にかみつきながらよじって回てんしふりまわすほかのオスたちもあなをとろうとけがしてもあきらめない。

③ほかのオスも入る

メスがあなに入るとほかのオスたちもいっしょにすあなに入る。

④たまご

メスがくるとぬしはメスと体をねらせ、すあなの中をぐるぐるとまわるつぎのしゅんかんメスはじゅずつなぎになったまごを一気にうみ落とす。

まとめ

すあなにメスといっしょに他のオスも入るのが、ふしぎだなと思いました。これからもっと知りたいです。